市政に対する一般質問

～9名の議員が質問～

9月定例会の一般質問は、9月16日及び17日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

発光ダイオード（LED）の活用について　他
山田裕一

市民の健康づくりについて
佐久間儀郎

「深谷工業団地の造成」について　他
沼倉昭仁

税の収納対策について
吉田貞子

小規模特認校について
水落孝子

農業の活性化について
大町栄信

本県へのドクターヘリ設置の早急促進について　他
管野恭子

財政運営の安定的確保の為の自助努力の必要性について
沼倉啓介

若者の結婚問題について　他
大野栄光

発光ダイオード（LED）の活用について

山田裕一

〔質問〕発光ダイオード（以下LEDと表記します）には、消費電力が少ない、寿命が長い、蛍光灯と違い水銀など有害物質が含まれていないといった特徴がある。

庁舎内照明器具や、街路灯、防犯灯、また道路照明灯のLED化によって環境に優しい低コストな公共サービスを提供出来ると思うがいかがか。

市長の所見を伺う。

【その他の質問】

○学校給食センターの今後の方向性について

〔答弁〕【市長】本市が取り入れる場合、防犯灯については、市で設置したものが1千356灯あり、これをすべて蛍光灯からLEDに変えた場合、設置費用として、現在ある設備を利用しても1灯当たり約2万2千円として2千983万2千円となる。

また、新設する場合、1灯10万円程度として、1億3千560万円が必要となる。

街路灯については、現在、LEDは100ワットまでしか製造されておらず、道路照明としては光量が足りない状況にあるため、水銀ランプよりも消費電力が低いオレンジ色の高圧ナトリウムランプを使用している。

本庁舎においては、蛍光灯型の発光ダイオードに変えた場合には、約1千本の蛍光灯があるので、2千200万円の設置費が必要となる。

近年、20ワット、40ワットの防犯灯の蛍光管をLEDライトに交換することが可能になったが、蛍光灯型のLEDについては、寿命がどの程度になるかわからない状況である。さらにLEDには現在、統一規格がなく、優秀な製品と粗悪品が混在しているといわれている。

これらのことから、今すぐに対応するのは難しいが、環境問題の観点からも、普及により低価格になることを期待するとともに、今後、積極的に検討してまいりたい。